MaxiiPower シリーズ

Vi2508/Vi2516
Vi2608/Vi2616
取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1 版

TEC-00-MA0195-01

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は，クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　　ＶＣＣＩ－Ａ

改版履歴

第 1 版　2015 年 03 月 19 日　　新規作成

ご使用上の注意事項

- 本製品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品を水などの液体のある場所で使用しないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 本体の清掃を行う場合には、乾いた布を使用してください。
- 雷雨の時や長期間使用しない時には、機器にケーブルを接続しないでください。
- 同梱されている付属品以外のものを使用しないでください。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

本製品を使用する前に、必ずお読みください。

安全の為、下記事項を必ず守ってください。

- **通電中の本製品の端子（線間）には、最大 57V が印加されています。取扱にはご注意ください。**
- **本製品の設置、配線などを行う際は、機器の電源を切った状態で行ってください。**
- **電源を入れた状態で端子に触れると感電する恐れがありますので、触らないでください。端子に触れる可能性がある場合は、本体の電源を切ってから作業してください。**
- **第三者が端子や芯線に触れないよう絶縁保護してください。**
- **濡れた手で機器やケーブルを触らないでください。感電する恐れがあります。**

目次

1. 製品概要 7

2. 梱包物一覧 8

3. 製品外観 9

3.1. Vi26xx シリーズ 9
3.2. Vi25xx シリーズ 11

4. インストレーション 13

4.1. ハードウェア 13
4.2. 専用 GUI について 13

5. 専用 GUI ログイン＆接続方法 14

5.1. GUI ログイン 14
5.1.1. USB による接続 15
5.1.2. Ethernet による接続 16

6. 専用 GUI 使用方法 18

6.1. Firmware 18
6.2. System Configuration 19
6.2.1. Power Management 20
6.2.2. System Configuration 21
6.2.3. Delayed Power up 22
6.3. Multiple Port Configuration 23
6.3.1. Detection Type 23
6.3.2. Classification 24
6.3.3. Power Inrush Control 24
6.3.4. Port Priority 24
6.3.5. Violation Type 25
6.3.6. Max Power 25
6.3.7. 適用 ..... エラー! ブックマークが定義されていません。

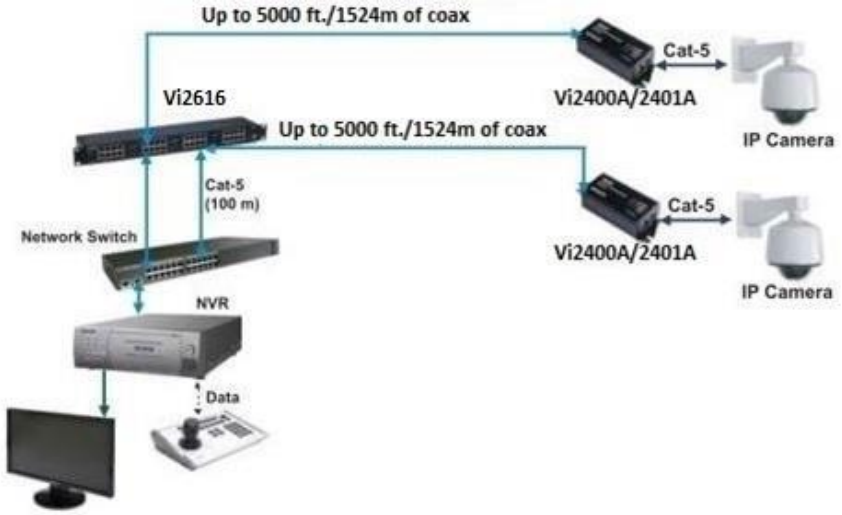
6.4. System View 26
6.5. Port Configuration 27
6.5.1. Port Configuration 27
6.5.2. Port Status 28
6.5.3. Statistics 28
6.6. IP Address Configuration 29
6.7. SNMP trap 30
7. 製品仕様 31
8. 推奨設定 33
9. 通信距離の目安 34
10. 困ったときには 35
11. 製品保証 36

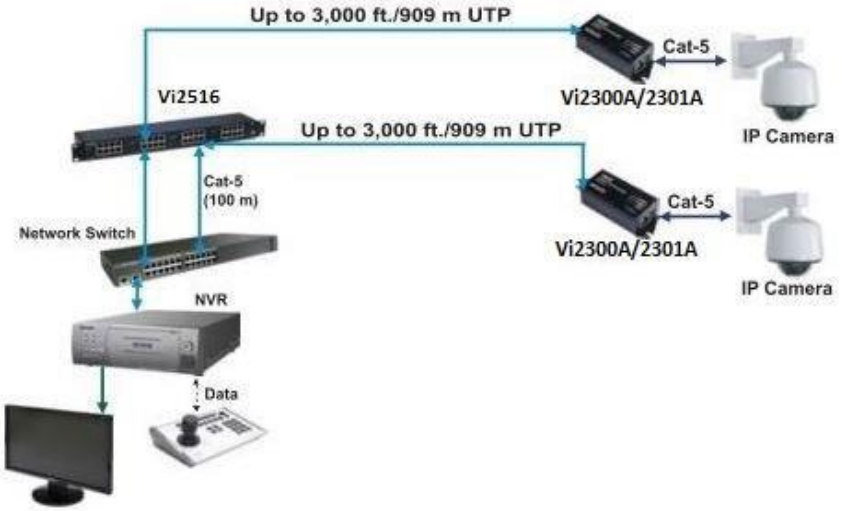
1. 製品概要

MaxiiPower シリーズは、同軸または UTP ケーブルを使用して PoE を延長する装置です。

本製品は親機（ローカル）専用であり、子機（リモート）側の機器には Vi2400A、Vi2401A または Vi2300A、Vi2301A のいずれかが必要です。Vi2x08 は 8 ポート、Vi2x16 は 16 ポートを備えており、同軸または UTP ケーブルを介してリモート側の機器に電源を供給します。1 ポートあたり最大 37Watt を全ポートから同時に供給することができます。また、専用の GUI を使用することで、電源供給の設定や状態を確認することが可能です。

※PD 機器によって延長できる距離は異なります





2. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

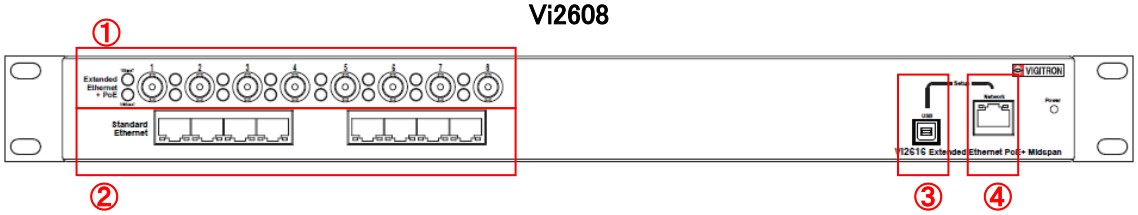
名 称	数 量
本体	1 台
ラックマウント用金具	1 式
AC 電源ケーブル	1 本
USB ケーブル	1 本
CD（専用ソフトウェア）	1 枚

3. 製品外観

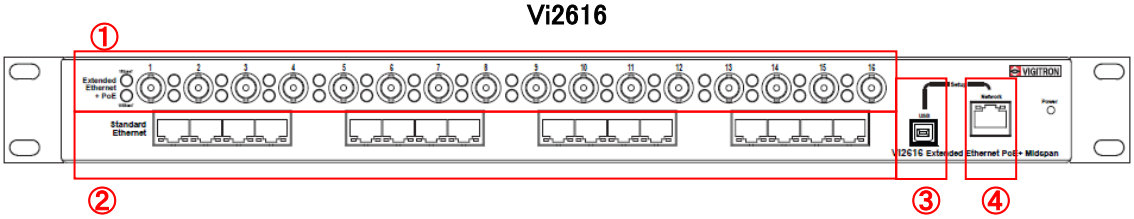
3.1. Vi26xx シリーズ

前面部

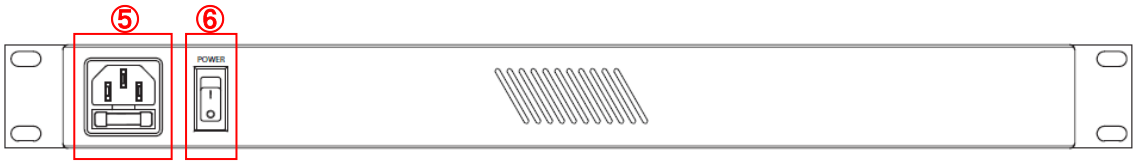
Vi2608



Vi2616



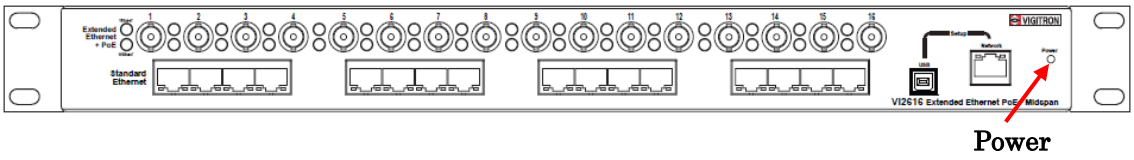
背面部

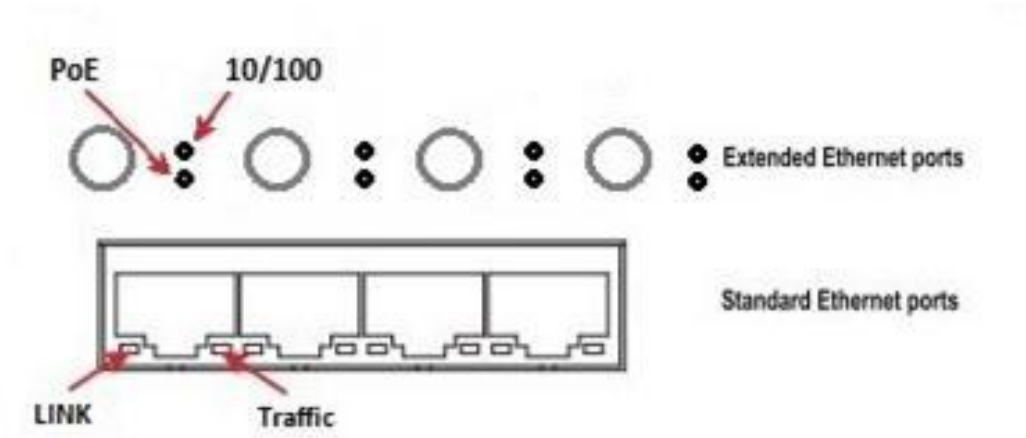


No.	名 称	説 明
①	同軸インタフェース	Vi2400A または Vi2401A と接続します。
②	LAN インタフェース	上位ネットワーク装置（スイッチ・ルータ等）を接続します。
③	USB コンソールポート	管理用コンソールポートです。
④	LAN コンソールポート	管理用コンソールポートです。
⑤	AC インレット	AC 電源ケーブルを接続します。
④	電源スイッチ	本体の電源 ON/OFF を行います。

※ 付属の AC 電源ケーブルは本製品専用です。他の機器には接続しないでください。また、付属品以外の AC 電源ケーブルを本製品に接続しないでください。

LED 表示





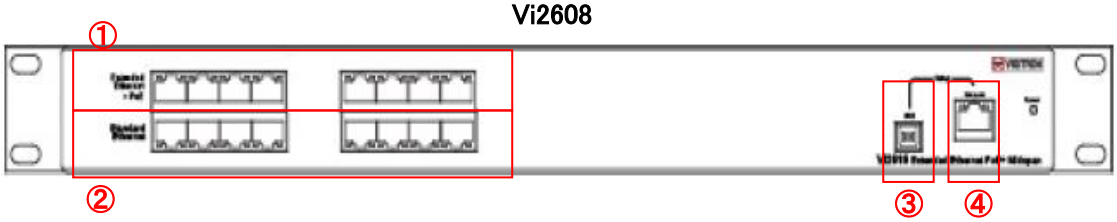
名 称	色	LED 状態	説 明
Power	緑	点灯	本体が起動しています。
	–	消灯	本体に電源が供給されていないか、電源スイッチが OFF の状態です。
PoE	橙	点灯	リモート端末に電源を供給しています。
	橙	遅い点滅	電源供給ができない状態です。
	橙	早い点滅	過電流状態です。※1
	–	消灯	電源を供給していません。
10/100	緑	点灯	リモート端末と 10M で接続しています。
	橙	消灯	リモート端末と 100M で接続しています。
	–	消灯	リモート端末とのリンクが確立していません。
LINK	橙	点灯	イーサネットリンクが確立しています。
	–	消灯	イーサネットリンクが確立していません。
Traffic	緑	点滅	データ送受信中です。

※1 本装置の最大出力電流を超える電流が流れている状態です。回線の短絡などが発生していないかすぐに確認して下さい。

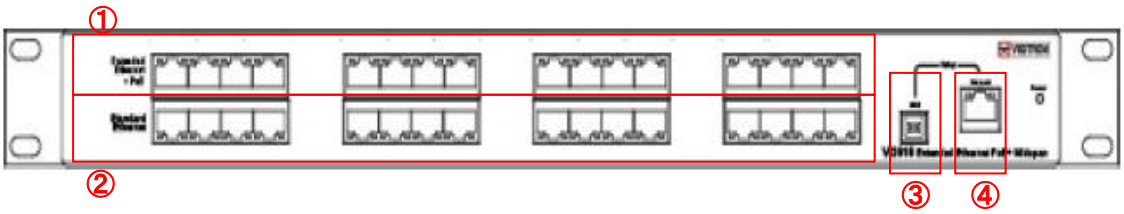
3.2. Vi25xx シリーズ

前面部

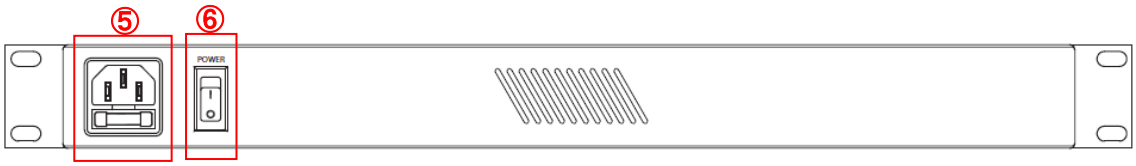
Vi2608



Vi2616



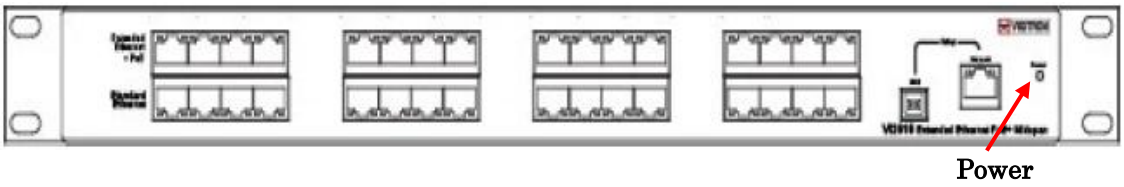
背面部

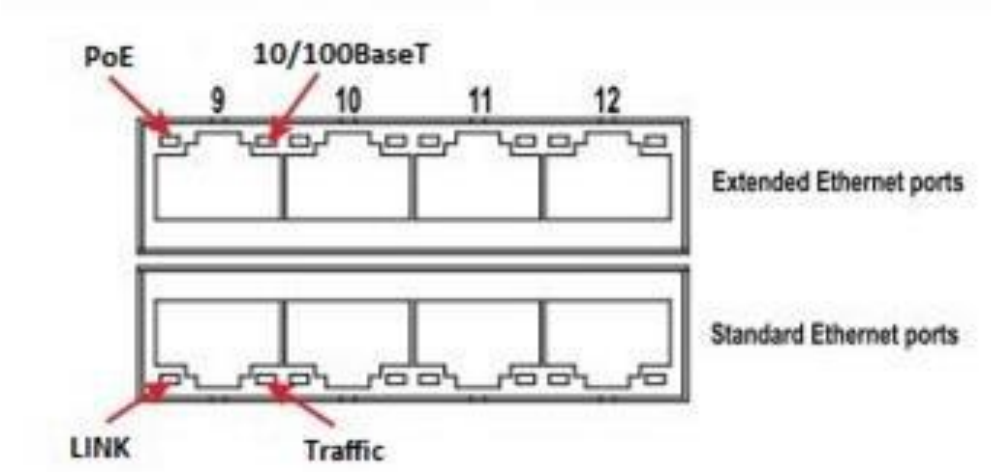


No.	名 称	説 明
①	UTP インタフェース	Vi2300A または Vi2301A と接続します。
②	LAN インタフェース	上位ネットワーク装置（スイッチ・ルータ等）を接続します。
③	USB コンソールポート	管理用コンソールポートです。
④	LAN コンソールポート	管理用コンソールポートです。
⑤	AC インレット	AC 電源ケーブルを接続します。
④	電源スイッチ	本体の電源 ON/OFF を行います。

※ 付属の AC 電源ケーブルは本製品専用です。他の機器には接続しないでください。また、付属品以外の AC 電源ケーブルを本製品に接続しないでください。

LED 表示





名 称	色	LED 状態	説 明
Power	緑	点灯	本体が起動しています。
	－	消灯	本体に電源が供給されていないか、電源スイッチが OFF の状態です。
PoE	緑	点灯	リモート端末に電源を供給しています。
	緑	遅い点滅	電源供給ができない状態です。
	緑	早い点滅	過電流状態です。※1
	－	消灯	電源を供給していません。
10/100	緑	点灯	リモート端末と 10M で接続しています。
	橙	消灯	リモート端末と 100M で接続しています。
	－	消灯	リモート端末とのリンクが確立していません。
LINK	橙	点灯	イーサネットリンクが確立しています。
	－	消灯	イーサネットリンクが確立していません。
Traffic	緑	点滅	データ送受信中です。

※1 本装置の最大出力電流を超える電流が流れている状態です。回線の短絡などが発生していないかすぐに確認して下さい。

4. インストレーション

4.1. ハードウェア

本装置を設置する際は、以下の手順に従ってください。

Step 1　本体に AC 電源ケーブルを接続する。

Step 2　同軸ケーブルまたは LAN ケーブルで子機と接続する。

Step 3　LAN ケーブルで PoE 端末と子機を接続する。

4.2. 専用 GUI について

本製品の設定・ステータス確認には、付属の専用 GUI で行います。

推奨 OS ： Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8
※PC に NET Framework 4 をインストールする必要があります。

インタフェース ： Ethernet または USB

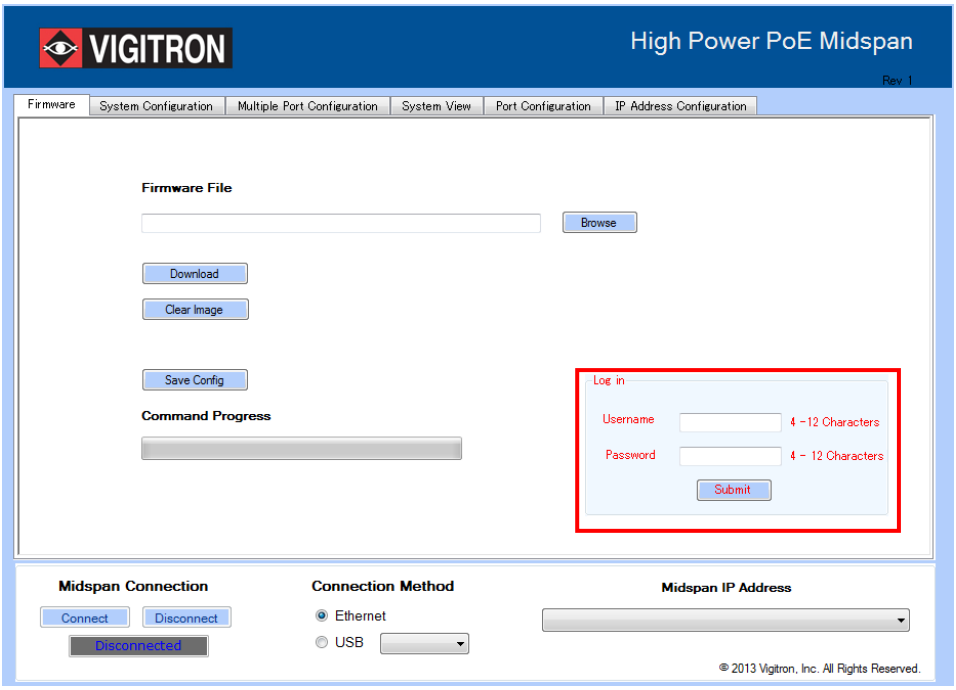
付属の”setup.exe”をクリックして、PC に GUI をインストールしてください。
インストールが完了すると、デスクトップに以下のショートカットが作成されます。

5. 専用 GUI ログイン＆接続方法

5.1. GUI ログイン

まず、Maxii Power の管理ポートと PC を（Ethernet または USB で）接続してください。

インストールした GUI を開くと、以下の画面が表示されます。



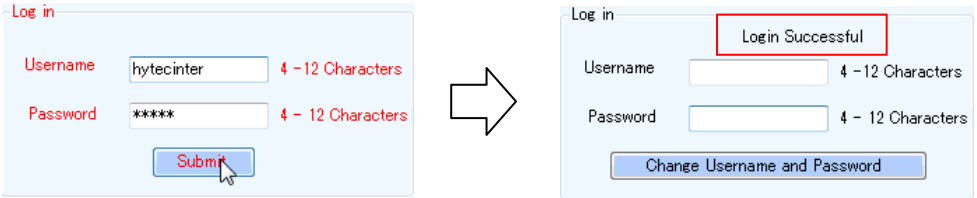
Username と Password を入力してログインします。

GUI インストール後、最初に使用する際に任意の Username と Password を決めて入力します。（半角英数 4～12 桁以内）

次回以降は、最初に入力した Username と Password が必ず必要になりますので、忘れずにお控えください。

Username と Password はログイン後に変更可能です。

・ ログインに成功すると、以下の表示 “Login Successful”になります。



※「Change Username and Password」を押すと、Username と Password の再設定ができます。

5.1.1. USB による接続

USB 管理ポートと PC を付属の USB ケーブルで接続します。

（自動的に USB ドライバが更新されない場合、手動でドライバを更新する必要があります。）

お使いの Windows が自動的に USB ポートドライバを更新しないことがあります。その際は、以下のように手動でドライバを更新してください。

A. **Windows XP** ：コントロールパネル→システム→ハードウェア→デバイスマネージャ→USB コントローラ

B. **Window Vista, Window 7, and Windows 8** ：コントロールパネル→システムとセキュリティ→システム→デバイスマネージャ→USB コントローラ

「**Connection Method**」で COM ポートを指定して、USB を選択します。

「**Midspan Connection**」で「**Connect**」ボタンを押します。

「**Disconnected**」から「**Connected**」に変われば、接続完了です。

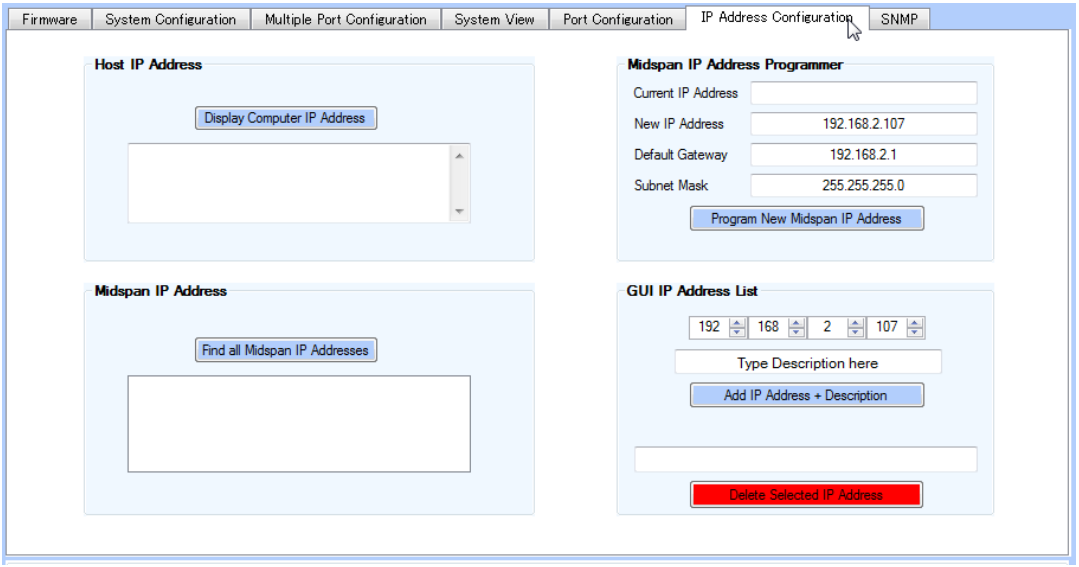
5.1.2. Ethernet による接続

事前に、お使いの PC の IP アドレスを 192.168.2.xxx のネットワークに接続できるように設定してください。
LAN 管理ポートと PC を LAN ケーブルで接続します。

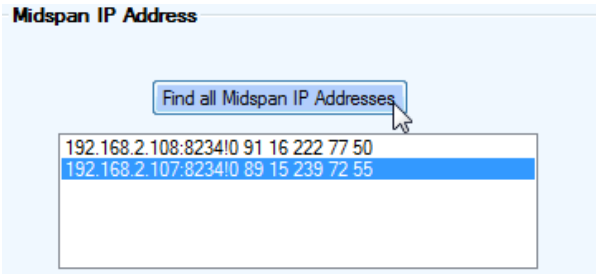
MaxiiPower デフォルトネットワーク設定

IP アドレス	:192.168.2.107
サブネットマスク	:255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	:192.168.2.1

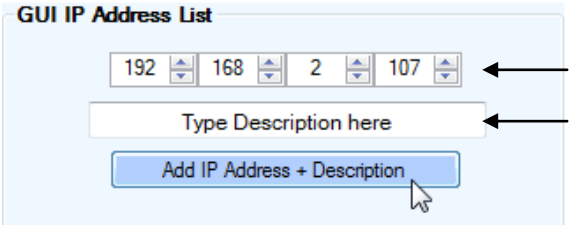
Step 1. 「**IP Address Configuration**」タブに移動します。



Step 2. 「**Find all Midspan IP Address**」をクリックします。
ネットワーク上の MaxiiPower の IP アドレスが表示されます。



Step 3. 接続する MaxiiPower の IP アドレスを GUI に登録します。
（下図で示すのは 192.168.2.107 の MaxiiPower を登録する場合です）

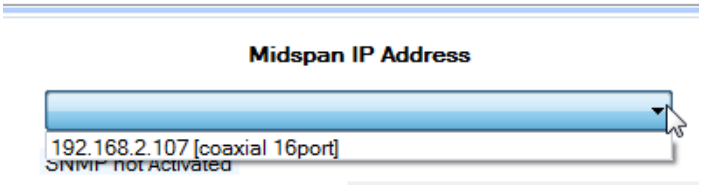


登録する IP アドレスを選択します

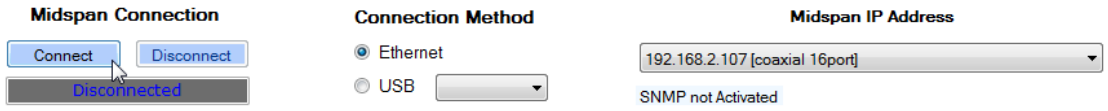
半角英数 21 字以内で説明を入力できます

2 バイト文字（全角カタカナ、漢字、全角記号など）は使用することができません。

入力が終わったら「**Add IP Address + Description**」ボタンを押し、「**Midspan IP Address**」のプルダウンに追加されれば GUI への登録完了です。



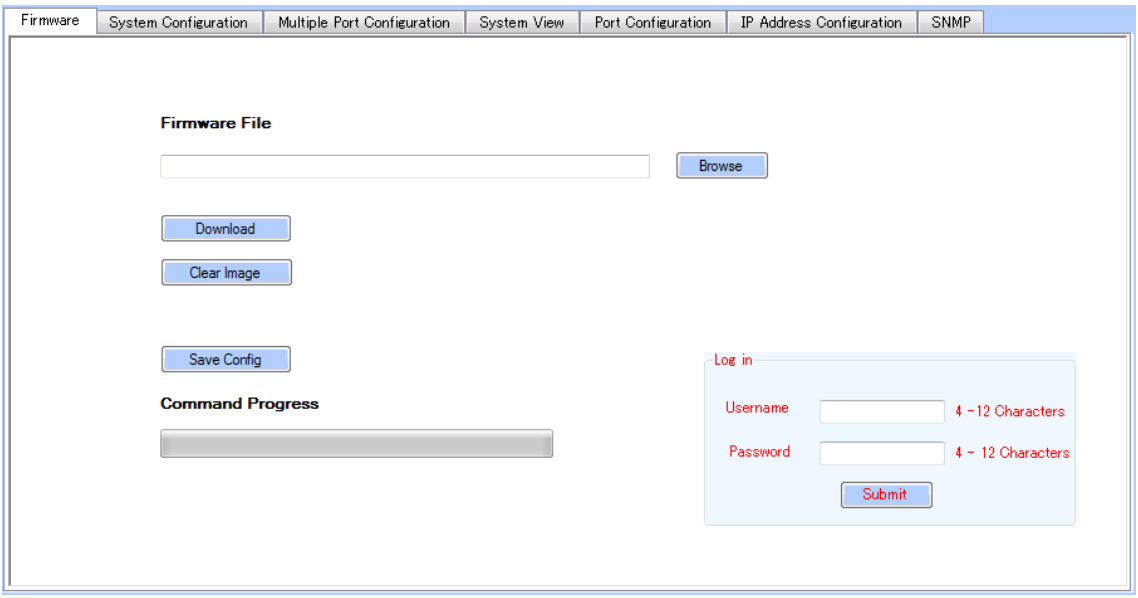
「**Midspan IP Address**」で、接続する IP アドレスを指定し「**Connection Method**」の Ethernet を選択します。
「**Midspan Connection**」で「**Connect**」ボタンを押します。



「**Disconnection**」が「**Connected**」に変われば、接続完了です。

6. 専用 GUI 使用方法

6.1. Firmware



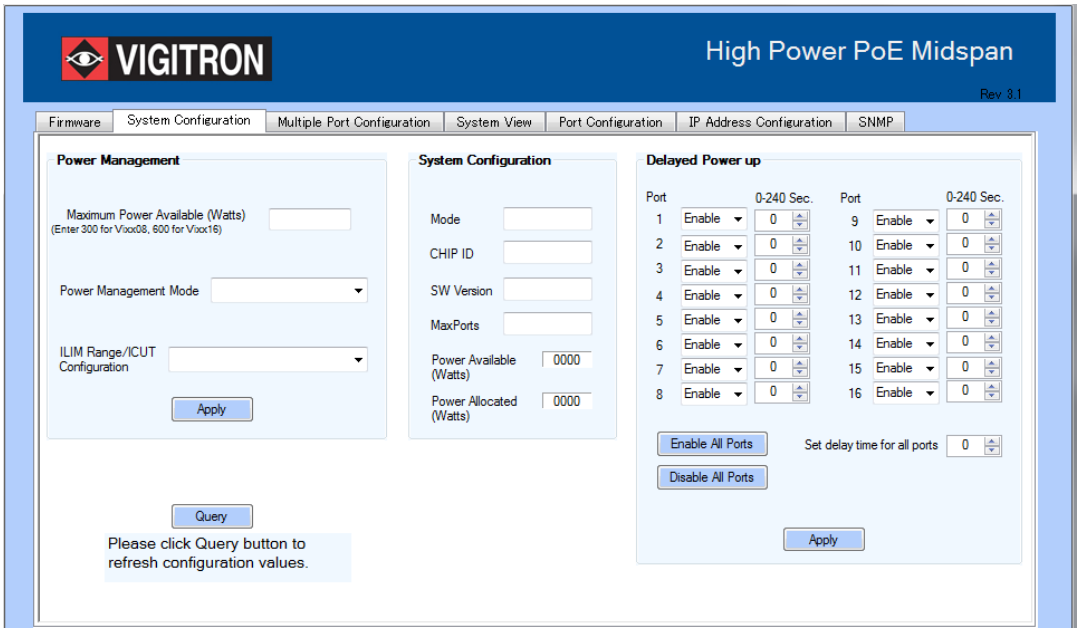
Firmware File	ファームウェアのアップグレードを行います。※
Browse	ファームウェアファイルを選択するために、ファイル参照ダイアログボックスを開きます。※
Download	選択したファームウェアファイルを本体装置に適用します。※
Clear Image	既存のファームウェアを消去します。※
Save Config	設定した内容を機器に保存します。保存しないで電源を OFF/ON するとデフォルト設定に戻ります。
Command Progress	コマンド実行の進行状況を表示します。 実行中はケーブルの抜き差しや機器の電源 OFF/ON を行わないでください。

※現在これらの項目はサポートしておりません。誤った操作をすると、機器が起動しなくなるおそれがありますのでご注意ください。

Log in については、5.1 GUI ログイン項を参照願います。

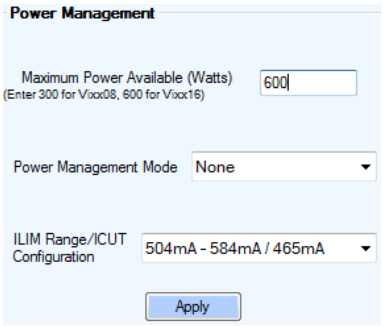
6.2. System Configuration

この項目では、システム全体の電源設定を行います。



Power Management	システム全体の電源設定を行います。
System Configuration	本装置の情報に関するステータスが表示されます。
Delayed Power up	装置を起動してから電源を供給し終えるまでの遅延時間を、各ポートにプログラムすることができます。この遅延は 0～240 秒の間の任意の時間に設定できます。
Apply	入力した設定を適用します。
Query	情報を更新します。

6.2.1. Power Management



◆Maximum Power Available

ログイン中の Maxii Power が供給可能な最大電力を表示します。

Vi2508/Vi2608 :300Watt

Vi2516/Vi2616 :600Watt

◆Power Management Mode

None	None を選択した場合 PoE 給電はできません。子機の電源は外部から給電する必要があります。
Static /w Priority	電力は、選択した Violation Type に静的に基づいて割り当てられます。Violation Type は「(Multiple)Port Configuration」タブで選択します。
Static /wo Priority	ポートのポートプライオリティが無視されることを除き、Static /w Priority と同じです。
Dynamic /w Priority	電力がポートの負荷と優先度に基づいて動的に配分されます。
Dynamic /wo Priority	電力が負荷に基づいて動的に配分されています。

◆Static /w (wo) Priority

・Violation Type が『**Class Based**』である場合、そのクラスの最大許容電力が分配されます。

・Violation Type が『**User Defined**』である場合、ユーザーが設定した限度値で分配されます。

・Violation Type が『**None**』である場合、出力バジェットが ILIM Range/ICUT Configuration での設定値で配分されます。

PoE(802.3af-Class0/1/2/3)が接続された場合、 いずれの設定でも 16.2Watt

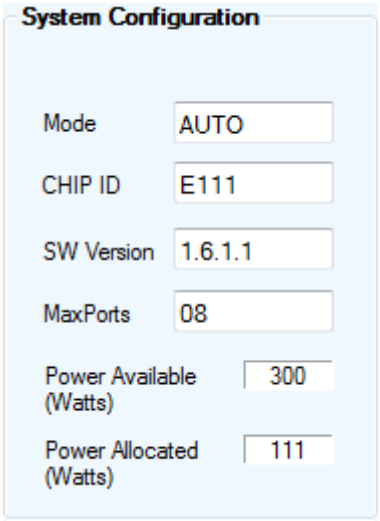
PoE+(802.3at-Class 4)が接続された場合、以下に示す値になります。

- For ILIM/ICUT -504/465 mA : **22.5W**
- For ILIM/ICUT -563/545 mA : **26.5W**
- For ILIM/ICUT -850/625 mA : **31.6W**
- For ILIM/ICUT -850/725 mA : **37.0W**

※特別理由がなければ、デフォルト値(Static /w Priority 、ILIM/ICUT - 850/725mA)から変更しないでください。

6.2.2. System Configuration

System Configuration では、装置の情報を表示します。

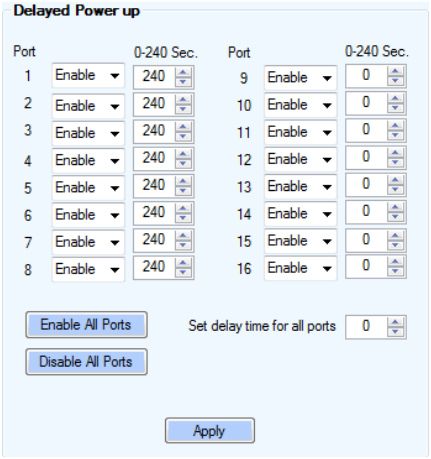


Mode	機器のモードを表示します。
CHIP ID	PSE チップのバージョンを表示します。
SW Version	ファームウェアバージョンを表示します。
Max Ports	機器の使用可能なポート数を表示します。
Power Available	装置全体で給電可能な最大電力量を表示します。
Power Allocated	システムによって割り当てられた総電力を示しています。Power Management mode によって変化します。

6.2.3. Delayed Power up

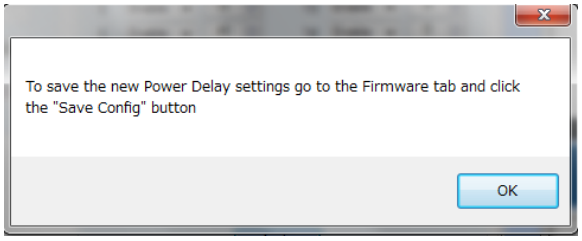
電源の瞬断等が発生した際、同時にすべてのポートから出力してしまうことで AC 電源上に大きなサージ電源が流れ込むことを防ぐことができます。各ポートは、本体を起動してから電源を供給し終えるまでの遅延時間0～240秒の間で任意にプログラムすることができます。

この機能が有効になっている時は、PoE の LED が点滅します。これは、遅延モードが有効になっていることを示します。遅延時間が終わった後に電力が供給されると、点灯に変わります。



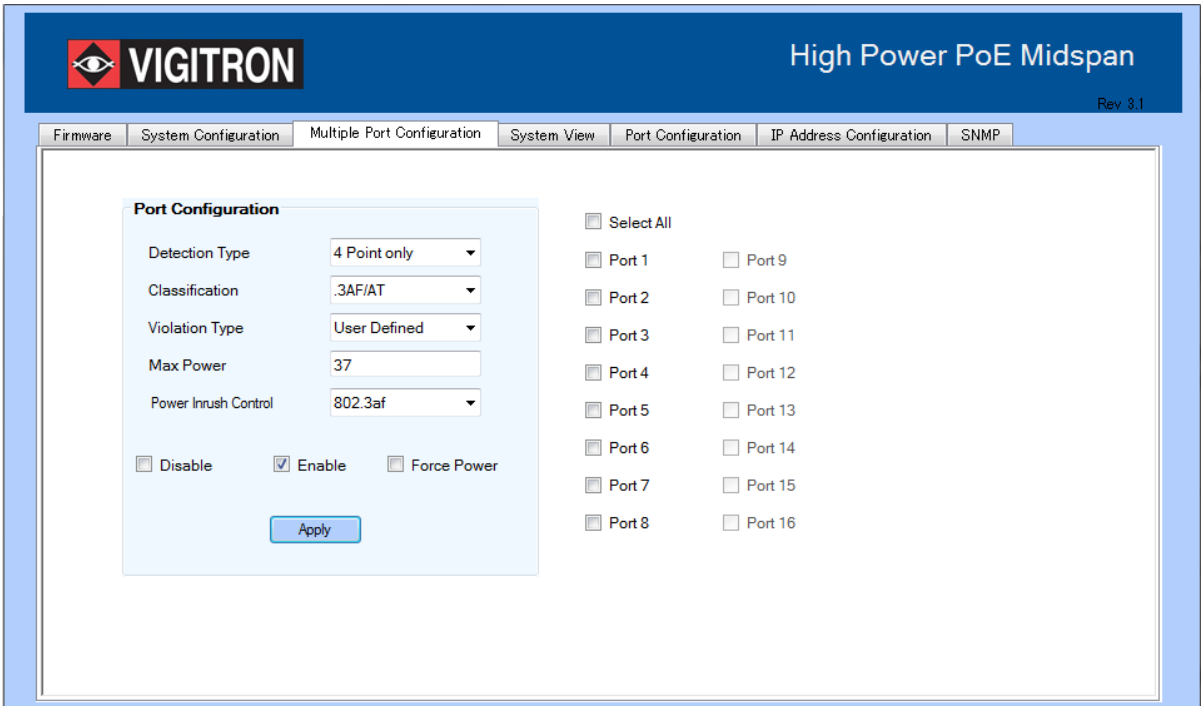
Port	コントロールに対応したポート番号を表しています。
0-240 (Enabled/Disabled)	遅延モードは、ドロップダウンメニューから有効、無効を選択できます。『Disabled』の場合、遅延時間は 0 となります。『Enabled』の場合、遅延時間を 0-240 秒で任意に設定することができます。『Query』ボタンをクリックすると、プログラムされている各ポートの遅延時間を表示します。
Enable All Ports	全てのポートを有効にします。
Disable All Ports	全てのポートを無効にします。
Set delay time for all ports	全てのポートを一括で設定します。

遅延時間の設定後に『Apply』を押下してください。下図のようにメッセージボックスが表示されますので OK を押して、Firmware タブの『Save Config』で設定を保存してください。



6.3. Multiple Port Configuration

複数のポートの設定を一括で行います。



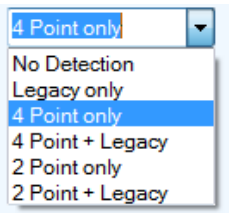
※このタブでは設定情報を確認することができませんが、機器の設定内容は更新されます。Port Configuration タブから各ポート単位で設定情報を確認してください。

6.3.1. Detection Type

PD 機器の検出方法を選択します。PD 機器の電源が入らない場合、まずこの設定を確認してください。

No Detection	本機能は未サポートとなりますので選択しないでください。
Legacy only	レガシーPD のみ検出します。
4 Point only	4 ポイント検出を行います。※
4 Point + Legacy	4 ポイント検出またはレガシーPD を検出します
2 Point only	2 ポイント検出を行います。
2 Point + Legacy	2 ポイント検出またはレガシーPD を検出します

※4 ポイント検出にすることで、2 ポイント検出よりも PD 誤検出の可能性が低くなります。

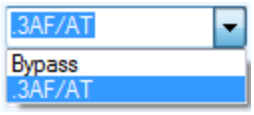


◆現在の PD 装置のほとんどは、デフォルトの”4 Point only”モードで動作しますので、この設定でお使いいただく事を推奨したします。

6.3.2. Classification

PD 機器のクラス検出タイプを選択します。

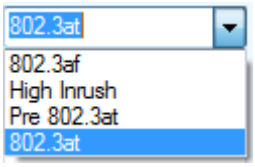
Bypass	クラス検出を無視します。
.3AF/AT	IEEE802.3af/at に従ったクラス分類を行います。



6.3.3. Power Inrush Control

接続するPD機器にしたがって選択します。

802.3af	IEEE802.3af の PD 機器に使用します。
High Inrush	15.4W 以上必要なレガシーPD 機器に使用します。 Classification 設定は Bypass モードにする必要があります。
Pre 802.3at	プレスタンダード IEEE802.3at の PD 機器に使用します。
802.3at	IEEE802.3at の PD 機器に使用します。

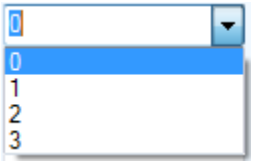


6.3.4. Port Priority

ポートの優先度を決定します。

装置全体の給電容量を超えた場合、優先度の低いポートからシャットダウンされます。

0:低い ←ーーーーー→ 3:高い

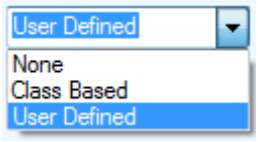


※Vi2608/Vi2616については、1ポートあたりの最大出力37Wattを全ポートに設定しても、装置全体の給電容量を超えることは無いので、優先度の設定は特に必要ありません。

6.3.5. Violation Type

選択されたポートの電力制限タイプを選択します。

None	ILIM Range/ICUT Configuration の設定値によって決まります。
Class Based	IEEE802.3af/at に従ったクラス分類による電力制限を行います。
User Defined	任意に選択できます。(最大 37Watt)



6.3.6. Max Power

電力制限値を入力してください。『Violation Type』が『User Defined』である場合にこの値が使われます。

入力可能な電力は**0-51[Watt]**です。

※ただし、Vi2608/Vi2616は最大出力37Wattになりますので、38以上の数値を入力しないでください。

6.3.7. Apply

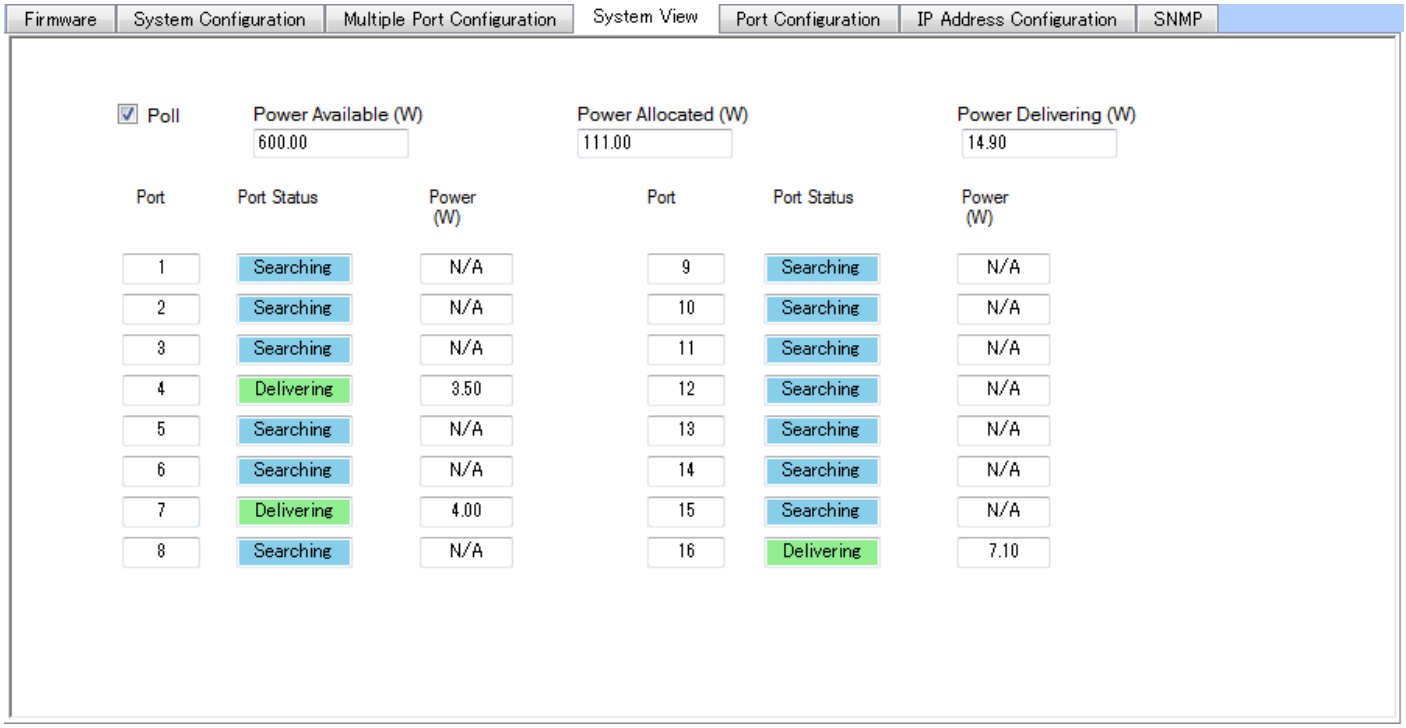
設定を適用したいポートにチェックを入れ、以下のいずれかを選択して『Apply』を押します。

Disable	全ての設定は無効となります。 LAN 延長として使用するポートは、Disable 設定にしてください。
Enable	Multiple Port Configuration で選択した設定を有効にします。
Force Power	強制給電モードになります。※

※Force Powerモードを有効にすると、端末へ強制的に給電します。
PoE非対応機器を接続すると、機器が故障する恐れがありますのでご注意ください。

6.4. System View

『System View』画面では、一画面ですべてのポートのステータスを監視することができます。



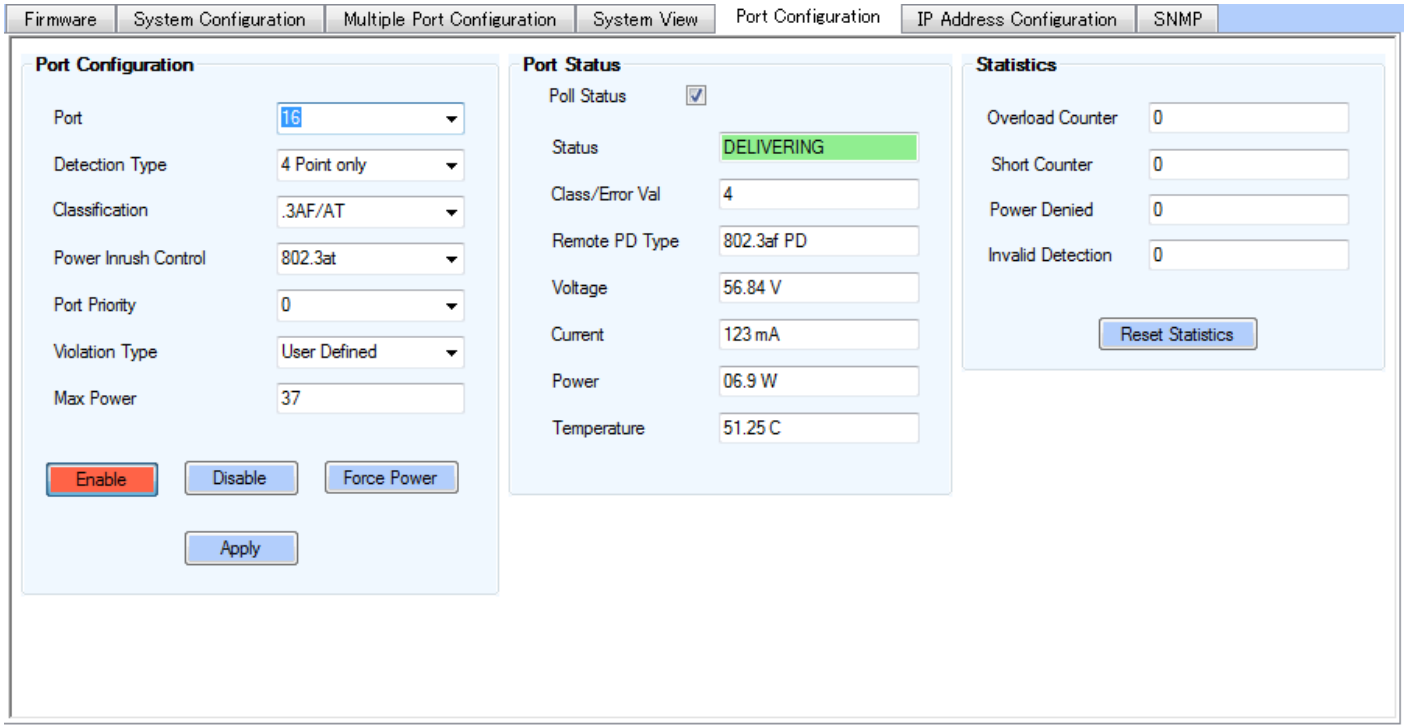
Poll	チェックを入れると、パラメータを常に更新します。
Power Available	装置全体の給電容量の最大値を表示します。
Power Allocated	接続しているポートの合計の最大使用電力を表示します。
Power Delivering	接続しているポートの合計の使用電力を表示します。
Port	ポート番号を表示します。
Port Status	ポート情報を表示します。※
Power	現在の給電電力を表示します。給電していない場合 N/A と表示します。

※ポート情報

緑(Delivering) :PD に電力を供給しています。
青(Searching) :PD を検索しています。
灰(Disabled) :PoE 給電機能が無効になっています。
黄(Requesting Power) :PD から給電要求を受けています。
橙(Test mode) :強制給電モードになっています。
赤(Fault) :何らかの理由で、PoE 給電エラーが発生しています。

6.5. Port Configuration

『Port Configuration』画面では、選択したポートの設定とステータス確認ができます。



6.5.1. Port Configuration

各ポートに個別設定を行います。

Port	設定変更またはステータス確認をするためのポートを選択します。
Detection Type	6.3 Multiple Port Configuration 項を参照してください。
Classification	
Power Inrush Control	
Port Priority	
Violation Type	
Max Power	

6.5.2. Port Status

各ポートの個別情報を表示します。

Poll Status	チェックを入れると、選択したポートの情報を表示します。チェックを外すと無効になります。
Status	ポート情報を表示します。※
Class/Error Value	通常動作で検出されたクラスを表示します。または故障状態でのエラー番号を表示します。
Remote PD Type	検出された PD の種類を表示します。ただし、機器によっては正しく表示されない場合もある為、参考としてください。
Voltage	ポートの出力電圧値を表示します。
Current	ポートに流れる電流値を表示します。
Power	給電電力を表示します。これは、PD の消費電力を表すものではなく、ポートから出力している電力になります。子機の消費電力やケーブルロスを含んでいます。
Temperature	各ポートのコントローラ IC のジャンクション温度を表示します。装置自体の温度ではありません。

※ポート情報

緑（Delivering） :PD に電力を供給しています。
青（Searching） :PD を検索しています。
灰（Disabled） :PoE 給電が無効になっています。
黄（Requesting Power） :PD から給電要求を受けています。
橙（Test mode） :強制給電モードになっています。
赤（Fault） :何らかの理由で、PoE 給電エラーが発生しています。

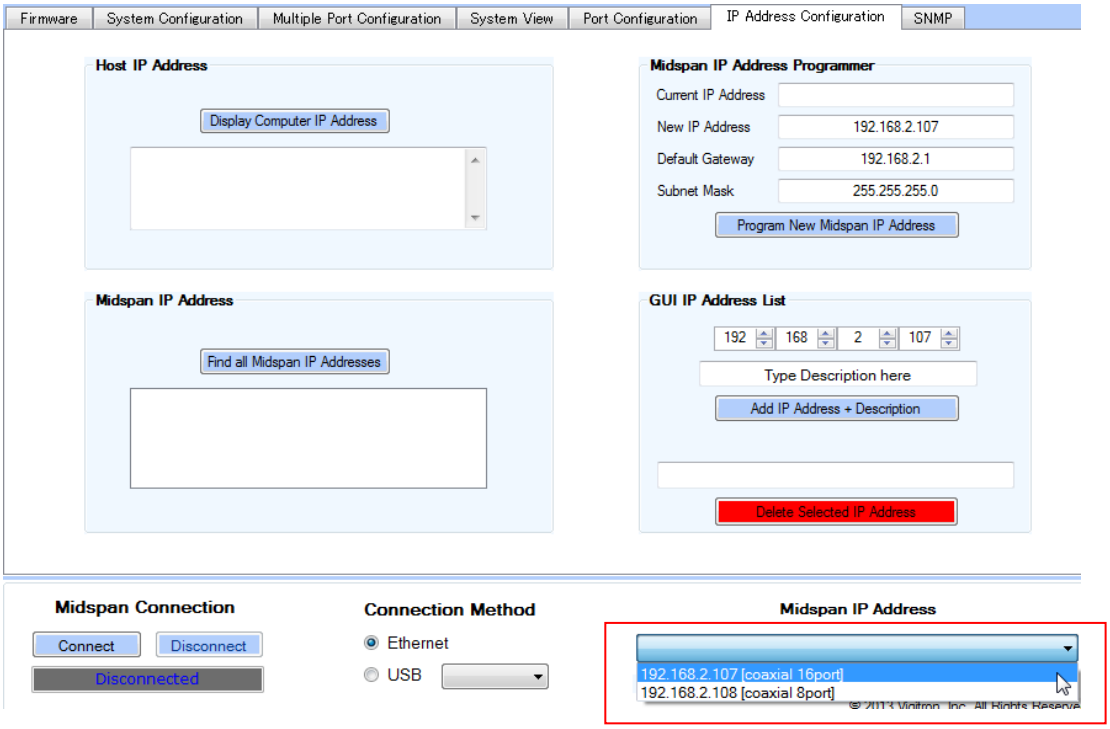
6.5.3. Statistics

各エラー統計を表示します。

Overload Counter	過負荷状態にあった回数を表示します。
Short Counter	短絡した回数を表示します。
Power Denied	負荷によって給電を拒否した回数を表示します。
Invalid Detection	無効な負荷を検出した回数を表示します。
Reset Statistics	すべてのポートの統計をリセットします。

6.6. IP Address Configuration

『IP Address Configuration』タブでは、GUI を本装置と接続するためのリストに、IP アドレスを追加します。
また、装置の IP アドレスや、初期ゲートウェイ、サブネットマスクの変更にも使用します。



Host IP Address	PC の IP アドレスを表示します。 『Display Computer IP Address』をクリックすると、GUI 上あるアドレスが表示されます。
Midspan IP Address	『Find all Midspan IP Address』をクリックすると、ネットワーク上の MaxiiPower の IP アドレスの一覧が表示されます。
Midspan IP Address Programmer	接続中の MaxiiPower のネットワーク設定を再プログラムします。 Current IP Address ：現在の IP アドレスを入力します。 New IP Address ：再設定する IP アドレスを入力します。 Default Gateway：再設定するゲートウェイを入力します。 Subnet Mask ：再設定するサブネットを入力します。 『Program New Midspan IP address』をクリックすると新しい情報がプログラムされます。
GUI IP Address List	『Midspan IP Address』の下のドロップダウンリストに IP アドレスを追加する際に使用します。これらの IP アドレスは、ネットワークを使用して PC と MaxiiPower を接続させるために使用します。 設定方法については、5.1.2 Ethernet による接続 項を参照してください。

6.7. SNMP trap

現在、SNMPtrap 機能は未サポートとなります。

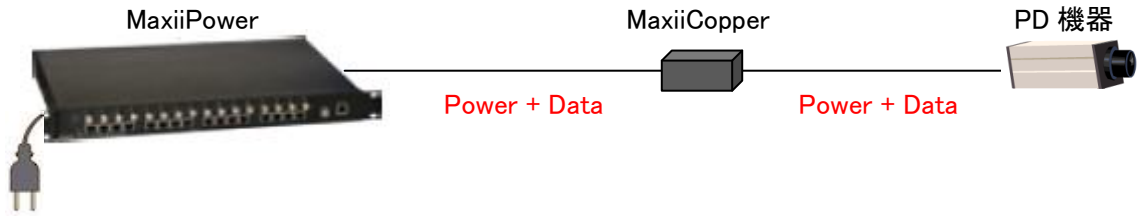
7. 製品仕様

製品名		Vi2508	Vi2516
伝送方式		メーカ独自方式	
伝送速度		10/100Mbps	
使用周波数帯域		100Base-T モード：約 0～125MHz 10Base-T モード：約 0～12.5MHz	
インタフェース	入力	RJ-45 x 8	RJ-45 x 16
		オートネゴシエーション（10/100BASE-TX） オート MDI/MDI-X 対応	
	出力	RJ-45 x 8	RJ-45 x 16
		オートネゴシエーション（10/100BASE-TX）	
	管理用	RJ45 x 1 ポート	
		オートネゴシエーション（10/100BASE-TX） オート MDI/MDI-X 対応	
		USB（B-メス） x 1 ポート	
		USB 2.0	
推奨ケーブル		Cat.5e 以上	
管理機能		専用ソフトウェア	
寸法		(W)435x(H)44x(D)270mm （突起部含まず）	
重量（本体のみ）		4.60kg	5.30g
筐体		アルミニウム	
電源		AC100-240V 50/60Hz	
消費電力（本体のみ）		最大 25W	最大 50W
PoE 給電容量		装置全体：300W 1 ポートあたり：37W (DC57V)	装置全体：600W 1 ポートあたり：37W (DC57V)
動作温度		-10～+50℃	
動作湿度		0～90% （結露なきこと）	
保存温度		-30～+70℃	
保存湿度		0～90% （結露なきこと）	
認定		VCCI class A、RoHS、CE Marking、WEEE	
製品保証期間		3 年間	
付属品		ラックマウント用金具 AC 電源ケーブル USB ケーブル CD（専用ソフトウェア）	

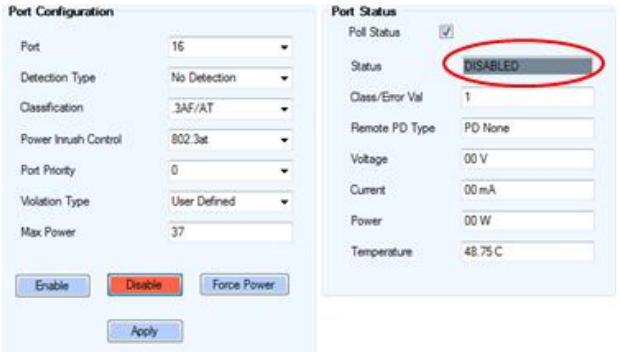
製品名		Vi2608	Vi2616
伝送方式		メーカ独自方式	
伝送速度		10/100Mbps	
使用周波数帯域		100Base-T モード：約 0～125MHz 10Base-T モード：約 0～12.5MHz	
インタフェース	入力	RJ-45 x 8	RJ-45 x 16
		オートネゴシエーション（10/100BASE-TX） オート MDI/MDI-X 対応	
	出力	BNC x 8	BNC x 16
		オートネゴシエーション（10/100BASE-TX） インピーダンス：75Ω	
	管理用	RJ45 x 1 ポート	
		オートネゴシエーション（10/100BASE-TX） オート MDI/MDI-X 対応	
		USB（B-メス） x 1 ポート	
		USB 2.0	
推奨ケーブル		UTP:Cat.5e 以上、同軸:5C-2V	
管理機能		専用ソフトウェア	
寸法		(W)435x(H)44x(D)270mm （突起部含まず）	
重量（本体のみ）		4.70kg	5.10g
筐体		アルミニウム	
電源		AC100-240V 50/60Hz	
消費電力（本体のみ）		最大 25W	最大 50W
PoE 給電容量		装置全体：300W 1 ポートあたり：37W（DC57V）	装置全体：600W 1 ポートあたり：37W（DC57V）
動作温度		-10～+50℃	
動作湿度		0～90%（結露なきこと）	
保存温度		-30～+70℃	
保存湿度		0～90%（結露なきこと）	
認定		VCCI class A、RoHS、CE Marking、WEEE	
製品保証期間		3 年間	
付属品		ラックマウント用金具 AC 電源ケーブル USB ケーブル CD（専用ソフトウェア）	

8. 推奨設定

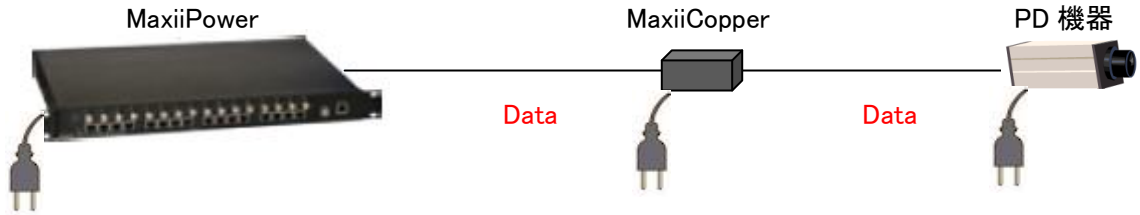
◆以下構成のように PoE 延長として使用する場合、デフォルトの設定でお使いいただく事を推奨致します。
1 ポートあたり最大 37Watt 供給できます。



※PoE カメラの電源を落とす際は、専用ソフトの Port Configuration から Disable をクリックして給電を止めてください。
同軸/LAN ケーブルを抜く場合も、Disable で給電を止めてから行ってください。

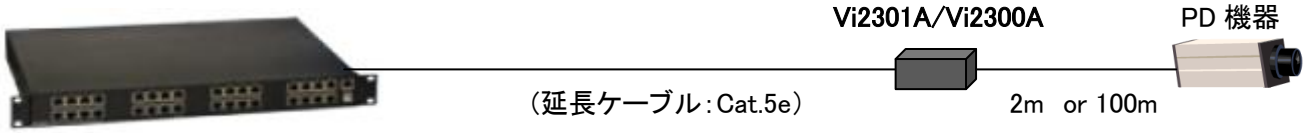


◆以下構成のように LAN 延長として使用する場合、専用ソフトの Port Configuration から該当ポートを Disable 設定にしてお使いください。この設定をすることで、PD 誤検出による給電の可能性は無くなります。



9. 通信距離の目安

Vi2508/Vi2516



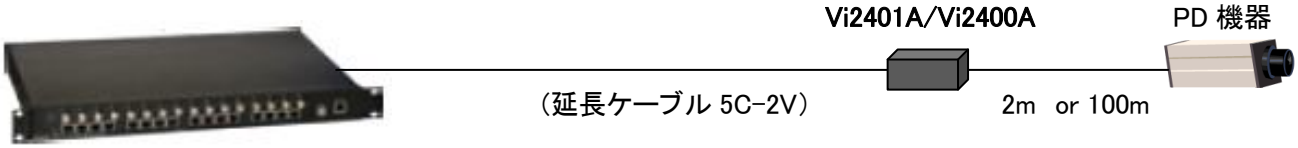
◆子機-PD 間 2m の場合

延長ケーブル Cat.5e	100m	200m	300m	400m	500m	600m	700m	800m	900m
通信速度[Mbps]	100	100	100	100	100	100	10	10	10
PD 機器への給電電力[W]	25.5	25.5	24.6	21.0	17.0	14.1	12.2	11.0	10.0

◆子機-PD 間 100m の場合

延長ケーブル Cat.5e	100m	200m	300m	400m	500m	600m	700m	800m	900m
通信速度[Mbps]	100	100	100	100	100	100	10	10	10
PD 機器への給電電力[W]	25.5	24.5	21.1	17.0	14.2	12.1	10.7	9.8	8.0

Vi2608/Vi2616



◆子機-PD 間 2m の場合

延長ケーブル 5C-2V	100m	200m	300m	400m	500m	600m	700m	800m	900m
通信速度[Mbps]	100	100	100	100	100	100	10	10	10
PD 機器への給電電力[W]	25.5	25.5	25.5	25.5	24.3	22.8	21.0	19.0	17.5

◆子機-PD 間 100m の場合

延長ケーブル 5C-2V	100m	200m	300m	400m	500m	600m	700m	800m	900m
通信速度[Mbps]	100	100	100	100	100	100	10	10	10
PD 機器への給電電力[W]	25.5	25.5	24.5	23.0	21.0	19.0	17.0	14.5	13.0

※上記の値は弊社環境による測定結果であり、性能を保証するものではありません。伝送距離は使用する PoE 給電機器やケーブルなどの環境によって変わりますので、使用の際は実環境で事前検証されることを推奨いたします。

10. 困ったときには

Vi25xx、Vi26xx の電源が入らない

本体の Power LED が消灯しているときは、本製品に電源が供給されていません。以下の点を確認してください。

- AC 電源ケーブルは、本製品 AC インレットに正しく接続されているか
- 電源コンセントには、適切な電圧が供給されているか
- 各ケーブルは正しく接続されているか
- 電源スイッチは ON になっているか

子機や PD 端末機器の電源が入らない

本体の電源が入っているのに、子機や PD に電源供給できない場合、以下の点を確認してください。

- 各ケーブルは正しく接続されているか（接続ポートを確認してください）
- 設定は正しいかどうか
- 端末機器が PoE（IEEE802.3af/at）対応機器かどうか
- 子機の DIP スイッチ設定は合っているか（Vi2401A のみ）

通信ができない

本体の電源が入っているのに通信が出来ない場合、以下の点を確認してください。

- 各ケーブルは正しく接続されているか
- 各機器の電源は入っているか
- 同軸ケーブルが短すぎないか（Vi26xx のみ） 1m 以下の同軸ケーブルでは正常に動作しない場合があります
- 子機の DIP スイッチ設定は合っているか（Vi2401A のみ）

11. 製品保証

◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させて頂きます。
3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
4) 弊社への送料はお客様の負担とさせて頂きますのでご了承ください。

初期不良保証期間:ご購入日より **3ヶ月間**（交換機器発送による対応）
製品保証期間:ご購入日より **3年間**（お預かりによる修理対応）

◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせて頂きます。
（修理できない場合もあります）

1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合

◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。

◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。

◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。

◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。

◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社
カスタマサポート
TEL 0570-060030
E-mail support@hytec.co.jp
受付時間 平日 9:00～17:00

Copyright © 2015
HYTEC INTER Co., Ltd.